

建議案理由書

今ヤ帝國海軍ハ 陛下ノ御稜威ニ
據リ開戦ノ劈頭第一敵ノ艦隊ニ大打撃
ヲ加ヘ以テ我武威ヲ發揚シタルハ吾人國民
ノ深ク感謝スル所ナリ然レモ 敵艦ハ決シテ
未ダスモ其勢カヲ失フタルモノニ非ラサルノミ
ナラス歐洲ニ在ル彼レノ別艦隊ハ或ハ遠シ
北海ヲ迂回シ「ベールング」海峡ヲ経テ浦港
ニ回航スヘシト云ヒ或ハ大規模ノ計畫ヲ達
ラ「スエス」ヲ通過シテ堂々旅順ノ艦隊ニ

早稲田大学図書館

文書27

D 48



人曰セントスト云ヒ或ハ垂全丁共和國ヨリ數艦
ヲ購入スベシト云ヒ要スルニ彼レカ持久ノ策
ヲ講ジツ、アルハ疑フベカラサル事實ニシテ
而カモ歐洲艦隊ノ来リ人需スルハ絶對的不
可能事ニアラザレバ吾人ハ此点ニ付キ深ク留
意シテ以テ終局ノ勝利ヲ期スベク從ツテ吾
人ハ徒ラニ初期ノ戰勝ニ醉ヒテ戰役中ハ云フ
迄モナク戰後ニ於ケル國家將來ノ運命ニ関
シテモ人テヨリ決シテ其研究ヲ懈ル可ラス吾
人ガ細心熟慮微忠ヲ盡シ以テ政府ヲ輔助
+

シテ國民ノ代表者タレ責任ヲ完フスベキハ實
ニ今日ニアリ而シテ其目的中先ツ最モ急務
トスベキハ近キ將來ニ於ケル海軍ノ充實ニアリ
ト爲ス是レ實ニ帝國臣民ガ自國ノ勢ニ
基ケル自然ノ義務ニシテ邦家ノ防衛實ニ
海軍ニ依頼セザル可ラザルナリ茲ニ於テ後
來ノ計畫ヲ建レカ爲メ先ツ開戰前ニ於ケル
日露兩海軍ノ勢カヲ比較シ見ルノ要アリ
即チ左ノ如シ(但シ三千噸以上ニシテ明治二十
四年以後進水ノモノニシテ所謂戰鬥第一線

ニ列スヘキモノ、ミヲ列記ス

日

兩路

艦種	隻数	噸数	艦種	隻数	噸数
戰闘艦	六	八六三九	戰闘艦	七	八四〇四
裝甲巡洋艦	六	五八七七八	裝甲巡洋艦	四	四三二一六
巡洋艦	六	二四八五八	巡洋艦	七	三八八三二
合計		一六七九三五	合計		一六六〇八〇

而シテ我ハ尚對馬、日進、春日ノ三隻即チ一八三。噸ヲ増加シ得彼レモ「ラスラビヤ」以下ノ三隻即チ二二六九。噸ヲ増加シ得ベク其勢力殆ト伯

+

仲ノ間ニアリシナリ然ルニ戰闘初期ノ功果ハ形勢ヲ一變セシメ加之我ハ前記ノ三隻ヲモ増加シ得タルニ反シ彼ハ「スセラウイツチ」「レトビーガン」「ワリヤグ」「パルラダ」「バヤーリン」ノ戰闘勢力ヲ失ヒタルヲ以テ現今ノ勢力大ニ懸隔シテ我ノ一八八七五五ニ對シ彼ハ一二三八三五噸ニ減少セリ故ニ人テ曰東洋ニ於テハ我レ彼レニ對シテ遙ニ優勢ノ地位ニアリ加之今後ノ戰況如何ニ因テハ彼ノ殘艦ヲ全滅スルヲ得ベシト虽モ吾モ亦少クモ勢力ノ半数ヲ失フベキモノト覺悟セザルベ

カラズ然ルニ彼レハ人々ヤ攷カトシテ艦艇ノ製造
ニ勉メ新ニ購入セントスル艦艇ト共ニ前記ノ増
派中ニアリシ三隻ヲ加ヘテ新ニ優勢ナル十八
隻ノ艦隊ヲ組織シ得ベク更ニ三年後ニ至レハ
着手中ナル大勢カアル四大戦艦ヲ加ヘテ其勢
カ實ニ二一六九八五ヲ算スベク我が半数ヲ減セ
ルモノト攷定セル九四三〇。餘噸ニ比較スレバ非
常ナル懸隔ヲ生ズ尤モ吾モ亦三年後ニ於テハ
二大戦艦艦即チ三万二千噸ヲ増加シ得ヘキモ
尚彼レノ二一ニ對スル一二ノ比較ニシテ遠ク彼レ

+

ニ及ハガルヤ明ナリ況ニヤ露人ハ復仇心強ク忍
耐力ニ富メル人種ナルニ於テシヤ本年二月十八日
彼レカ公表セル所ハ我軍奏功ノ戦報ハ忍ラ
之ヲ他日期セザルベカラズ隠忍以テ時局ノ不安
展ヲ待タバ我軍隊ガ敵艦ニ對シテ百倍ノ
酬復ヲ為スベキヤ必然ナリト國民ニ警告シ
又皇帝ガ海軍兵学校ニ臨シテ下賜セル
勅語ニハ吾國敵ハ突然夜陰ニ乘シテ忍ニ
我防衛地ヲ襲撃セリ人々ヤ吾郷國ハ大ニ海
陸ノ兵カヲ擴張セサルベカラス云カトアリ又更ニ

近日ノ報ニヨレハ彼レノ國民ハ海軍擴張費トシテ既ニ一千万圓ヲ献ス至シ露帝ハ手元金ヲ以テ仁川ニテ沈没セル「ワリヤーグ」「コレーツ」ノ名ヲ命スベキニ艦ヲ新造セレスト聞ク左ナキダニ彼レハ近年一意海軍ノ大擴張ニ努メツノアルハ争フベカラザル事實ニシテ既ニ千九百二年ニ於ケル將校ノ数ト開戦后ニ於ケルモノトヲ比較スレハ思ヒ半ニ過グルモノアルヘシ(其水路士官砲隊士官機関官等モ増加セシガ茲ニ畧ス)

兩者ヲ左ニ掲ク

+

一九〇一年七月艦艇勤務定員表	今回増加セラレタル艦艇勤務定員表	新ニ増加シタル数
大将 定員ナシ		
中将 二〇	二二	二
少将 三五	三五	〇
大佐 九二	一〇二	一〇
中佐 二一	三四	一三七
大尉 七二	九〇	一七六
少尉 三六	七七	四一一

彼レカ銳意海軍ノ擴張ニ努ムルコト此ノ如シトスレバ今後ニ於ケル彼ノ決意知ルヘキノ以

上諸件ヲ綜合シテ断案ヲ下セバ彼レカ種々ノ
 手段ヲ講シ全カヲ尽シテ國民ヲ激勵シ卧
 薪膏膽以テ他日ノ復讐ヲ期セトスルヤ照子
 トシテ明カナリ殊ニ彼ハ諸極楽ノ發点ヲ歐洲
 ニ有シ我ニ比シテ容易ニ海軍ノ擴張ヲ為シ
 得ヘキ諸種ノ便宜ヲ有スレハ豈ニ恐レテ懼
 レサルベケレヤ之レニ對シテ我帝國々民ノ覺悟
 果シテ如何苟モ國家ヲ防衛セルト欲セハ今
 ヲリ直ニ舉國一致シテ海軍ノ大^擴充^強實^計ヲ計
 リ以テ終局ノ勝ヲ制ヤザルベキナリ是レ本案
 十

中提出スル所ニ依リ

本冊ハ

佐藤代議士、食言ニヨリ千載一遇ノ好機
 ヲ逸セルモナリ

